

三重県/南伊勢町について
楽しく知ろう! 学ぼう!

河村瑞賢生誕400年事業

南伊勢大学 in 三重テラス

受講者募集!

全4回/各回定員30名程度
受講料/無料 (先着申込制)

【場所】 三重テラス (東京都日本橋)

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2-4-1 YUITO ANNEX 2F

三重県の南部、伊勢神宮のある伊勢市に隣接し、伊勢志摩国立公園内にある南伊勢町は、美しいリアス海岸に加え、伊勢神宮の自然林から続く豊かな森や里山、温暖な気候に恵まれています。山から海まで多彩な自然に育まれた農林漁業や豊かな食文化など、農村と漁村が混在する独自の文化とそこに生きる人々が魅力です。

その南伊勢町で生まれた江戸時代の偉人・河村瑞賢は、“商人を超えた日本の偉人”として、現代の日本の基礎を作りあげた人物です。河村瑞賢生誕400年の節目を記念して、河村瑞賢の偉業を伝えとともに、南伊勢町の魅力を感じてもらうために、南伊勢大学 in 三重テラスを開講します。

第1回 10月6日(金)

【テーマ】 南伊勢町の里山と文化

【講師】 南伊勢町の自然マスター

開場/18:30 開講/19:00~20:30(予定)

温暖な気候に恵まれた南伊勢町の自然やみかんについて学びます

特典
南伊勢の
極早生温州みかんのお土産



第2回 11月2日(木)

【テーマ】 南伊勢町の歴史

【講師】 南伊勢町の歴史マスター

開場/18:30 開講/19:00~20:30(予定)

南伊勢町出身の剣術の祖・愛洲移香斎と、平家の落人伝説「竈方」について学びます



特典
南伊勢町特産品のお土産

第3回 12月15日(金)

【テーマ】 南伊勢町の花と文化

【講師】 南伊勢町の花マスター

開場/18:30 開講/19:00~20:30(予定)

伊勢志摩国立公園にあたる南伊勢町の美しい海と漁業について学びます



特典
南伊勢町ひものお土産

2018年
第4回 1月24日(水)

【テーマ】 河村瑞賢と文化交流

【講師】 河村瑞賢マスター、特別ゲスト

開場/18:30 開講/19:00~21:00(予定)

偉人・河村瑞賢について学びながら、瑞賢ゆかりの酒田市との交流や、2市町の特産品を試します

特典
南伊勢町の魚やみかん
酒田市のお酒とお米の試食



第1回~4回にご参加頂いた方に
チャンス

特別回 2018年
2月3日(土)・4日(日)

南伊勢町を体験しよう!
南伊勢大学 in 南伊勢

定員/10組20名

集合場所/宇治山田駅

★南伊勢町宿泊費(ペア1泊2食付)ご招待!

★瑞賢祭りに参加頂けます!

★南伊勢町内での体験ツアー!

※申し込みのご案内は南伊勢大学 in 三重テラスの各回で行います

※南伊勢大学に1回でも参加いただいた方が対象です

※申込多数の場合、全4回とも受講した方が最優先となり、

参加回数が多い方から対象とさせていただきます

※出発地から伊勢市までの交通費は参加者の負担となります

お申込み

下記(南伊勢大学事務局)まで、必要事項を明記し、メールまたはハガキにてお申込みください。折り返しご案内させていただきます。

必要
事項

★お名前 ★ご住所 ★連絡先(携帯など日中に連絡とれる番号を明記ください)

★希望の回(ご希望の回を全て明記ください)

①10月6日(金) ②11月2日(木) ③12月15日(金)

④2018年1月24日(水) ※参加の申込は、各回開始日の5日前までに申込ください

申込先

メール zuiken400@gmail.com(南伊勢大学事務局)

郵送

〒516-1492 三重県度会郡南伊勢町神前浦15番地
南伊勢町教育委員会事務局生涯学習係

お問合せ

☎ 0596-77-0002(南伊勢町教育委員会) 担当: 里中、服部

※記載のイベントは変更になる場合がございます。



南伊勢大学

in 三重テラス



第2回 時間割 南伊勢町の歴史

11月2日 (木)

19:00~19:15	オープニングあいさつ 【南伊勢町副町長 矢野次男さん】
19:15~19:30	瑞賢ミニトーク 【南伊勢町教育委員会 服部さん】
19:30~20:00	愛洲移香斎について 【正泉寺 中世古さん】
20:00~20:30	竈方の文化について 【仙宮神社 加藤さん】

瑞賢ミニトーク

「商人を越えた偉人」河村瑞賢。
第1回目に引き続き、彼にまつわるエピソードや生誕地である東宮や西廻り航路の寄港地である方座浦など、町内の集落に伝わる祭りや伝承を紹介します。

プレゼンターは南伊勢町教育委員会の服部さんです。



方座浦浅間祭の様子

愛洲移香斎について

室町時代の剣豪「愛洲移香斎」。南北朝のころには南伊勢町五ヶ所浦を中心に活躍しました。剣術の極意を会得し、「陰流」の開祖となりました。この陰流は多くの有力な流派を生んで隆盛しました。なかでも後に新影流として上泉や柳生に引き継がれましたことは有名です。現在でも南伊勢町では剣祖祭が催され、全国から多くの剣士たちが集まります。



剣祖祭の様子

南伊勢町正泉寺の
中世古さん



仙宮神社の加藤さん



竈方祭の様子

竈方の文化について

平家落人伝説のまち、南伊勢町。
かつて栄華を極めた平家一族が落ちのびた先が南伊勢町でした。「竈」いうのは塩焼き竈のことであり、落人の人々は製塩業を営み、生計を立てていました。

現在でも町内には「竈」と名のつく集落があり、独特の文化を継承しています。

しかし、近年は高齢化のため祭事などが簡略化されてきていました。そこで、町をあげて「竈方祭」や「御座船」の復活させ、新たなかたちで若い世代に伝統が継承される取組を行っています。